若者１０万人の総合調査（概要）

○ 若者は、社会的自立に向けた重要な移行期にあるものの、年齢により支援が途切れやすいなどにより、孤独・孤立に陥りやすいこと等が指摘されている。
○ 若者の実態を踏まえた若者施策の充実に向けて、まずは、若年世代の状況を大規模・包括的に把握。

＜調査方法＞

① ウェブアンケート調査 ：15歳～39歳の若者10万人を対象
（令和8年5月20日～）

※アンケート調査項目の検討過程では、有識者、若者支援団体等及び「こども若者★いけんぷらす」でこども・若者の意見を聴取。
※なお、より多くの若者の声を聴取する観点から、「こども若者★いけんぷらす」でもアンケート調査を実施。

② 若者支援団体等と連携した現場レベルの情報収集
：NPO法人等の支援を受けている者を対象

③ 既存の調査研究の整理・分析
：過去における諸外国の事例等を整理・分析

＜今後のスケジュール＞

R８年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
①ウェブアンケート調査			実査 ／ 集計・分析				調査結果の検討			報告書作成		
②若者支援団体等と連携した現場レベルの情報収集					情報収集							
③既存の調査研究の整理・分析			事例収集 ／ 整理・分析									

＜主な調査項目＞

困っていること・知りたいこと
人間関係や就職活動等の具体的な場面での困り事や知りたい事を把握

体験活動
これまでに経験した体験や児童期の体験と、青年期以降の自己肯定感や生活満足度との関連を把握

社会参画への意識
社会参画への意識及び経験を把握し、社会参画と自己肯定感や生活満足度との関連を把握

精神的健康
メンタルヘルスが悪化している方とそれ以外の方との意識の違いを把握

SNSの利用
ポジティブ（他者とのつながり等）とネガティブ（メンタルヘルスの悪化等）の両面からSNS利用に対する意識を把握

公的支援に繋がらない背景
困難に直面していても公的支援に繋がらない背景を捉えるため、支援に対する認識や頼れる場所・情報源等を把握

多様な若者の実態
多様化したライフコースを歩む若者ごとの実態を把握

結婚・出産に対する意識
結婚への意欲や障壁、希望のこども数やこどもを持った理由、今の生活で優先することを把握

アウトリーチ型支援
行政機関が積極的にアウトリーチ型の支援を実施することに対する認識を把握

社会的養護経験者の実態
児童福祉施設等の社会的養護経験者とそれ以外の者との意識の違いを把握